

2 学 期	<p>【知識及び技能】 「もし(今)～なら…」, 「もし(あのとき)～ だったなら…」を表す / I wish+S' +過去形 / If it were not for...の文構造を理解し、使い 分けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容に ついて話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的 な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き 取れなかったことや理解できなかったことを聞き 直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表 現することができる。</p>	<p>・Unit11 仮定法 Grammar Focus 仮定法①② ・Lesson 8 Inventions that changed the way we live</p> <p>①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキング やライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを 通して、概要や要点を読み取り、さらに理解 を深める。 ＜学習形態＞ ・学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫す る。 ＜その他の取組み＞ ・暗唱例文はディクテーションをする。 ・話すこと(スピーチ・インタビューテスト) を実施する。 ・各レッスンの文法事項の小テストを行う。</p>	○					<p>【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役 割などを理解している。外国語の技能(話 すこと、書くこと)について、実際のコ ミュニケーションにおいて活用できる知 識・技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社 会的な話題について、情報や考えなどを外 国語で的確に理解したり適切に伝え合っ たりしている。聞いたり読んだりしたこと などを活用して、自分の意見や考えなど を話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・ 書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり 読んだりしたことを活用して、自分の意見 や考えなどを話したり書いたりして表現し ようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期 考 査								○	○	1	
2 学 期	<p>【知識及び技能】 Thank you for... / It's very kind of you to... / I'm sorry (that).../My apologies for...のはたらきを理解し、使い分けること ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容に ついて話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的 な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き 取れなかったことや理解できなかったことを聞き 直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表 現することができる。</p>	<p>・Unit12 否定 ・Unit13 さまざまな構文 ・(Part 2) Lesson 1 Can you come to our party?</p> <p>①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキング やライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを 通して、概要や要点を読み取り、さらに理解 を深める。 ＜学習形態＞ ・学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫す る。 ＜その他の取組み＞ ・暗唱例文はディクテーションをする。 ・話すこと(スピーチ・インタビューテスト) を実施する。 ・各レッスンの文法事項の小テストを行う。</p>						○	○	○	9	
	定期 考 査								○	○	1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 Would you mind...? / Can I ask you a favor? / Can you...? / I was wondering if I could... / I would appreciate it if you could...のはたらきを理解し、使い分けること ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容に ついて話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的 な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き 取れなかったことや理解できなかったことを聞き 直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表 現することができる。</p>	<p>・Unit14 疑問詞・疑問文 ・Unit15 時制の一致と語法 ・(Part 2) Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow</p> <p>①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキング やライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを 通して、概要や要点を読み取り、さらに理解 を深める。 ＜学習形態＞ ・学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫す る。 ＜その他の取組み＞ ・暗唱例文はディクテーションをする。 ・話すこと(スピーチ・インタビューテスト) を実施する。 ・各レッスンの文法事項の小テストを行う。</p>	○					○	○	○	8	
	定期 考 査								○	○	1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 because of / because / as / since / that's why / so / the [another] reason is... / thereforeのはたらきを理解し、使い分けること ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容に ついて話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的 な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き 取れなかったことや理解できなかったことを聞き 直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表 現することができる。</p>	<p>・Unit16 接続詞 ・Unit17 名詞・冠詞 ・(Part 2) Further Activity パラグラフの 構成3</p> <p>①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキング やライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを 通して、概要や要点を読み取り、さらに理解 を深める。 ＜学習形態＞ ・学習の形態(個人、ペア、全体)を工夫す る。 ＜その他の取組み＞ ・暗唱例文はディクテーションをする。 ・話すこと(スピーチ・インタビューテスト) を実施する。 ・各レッスンの文法事項の小テストを行う。</p>						○	○	○	9	
	定期 考 査								○	○	1	
										合計	70	

科目（講座名）	コミュニケーション英語Ⅲ	3単位	学校必履修
教科書	NEW STREAM English Communication Ⅲ	担当教諭	
副教材	英単語ターゲット1900		

学習の目標

知識・理解力、思考力・表現力、協働力を外国語学習を通じて、高める。

授業内容

様々な題材の150語程度の英文を読み、言語や文化に対する理解を深め、英文に対する英問を適切な文法や単語を用いて答える。週に一度、ALTとのコミュニケーション活動を通してコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

学習方法

単語テスト、英問英答、音読活動、ディクテーション、発表活動、英文精読、英文速読。

評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に英文や教員からの発問を理解しようとしている。 積極的に他者とコミュニケーションをとろうとしている。
表現の能力	英語のスペリング、文法内容を適切に表現することができる。 英語の質問に対して、流暢に答えることができる。
理解の能力	英文の意味を正しく理解することができる。 英語の音声を正しく理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	英語独特の文化や、文の構成、表現方法について理解することができる。

評価方法

日常の授業態度
 発問に対する回答の評価
 課題等の提出状況
 定期考査・課題テスト・小テスト

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	6	Skill1～10 Chapter1 Chapter2 Chapter3	A Real Life <i>Maneki Neko</i> ~ All Work and No Play	・言い換え、逆説、結果、要約、結論などのディスコースマーカー、スキヤニングなどの英文を読み解く上でのスキルを身に着けながら、英文を読んでいくことが必要になる。
	5	6		“ Steve and Ryoma ”	
	6	7		“ Uluru, Not Ayers Rock ”	
	7	7		“ Community Design ”	
2	9	7	Chapter4 Chapter5 Chapter6 Chapter7	“ The Life of Murasaki Shikibu ”	代名詞が具体的にどの単語を示しているか、また文章の中での対比、so that を使った原因と結果についての表現を学びながら、英文を読んでいく必要がある。
	10	7		“ Microfinance ”	
	11	7		“ The Air Powered Car ”	
	12	7		“Are Children the Best Learners?”	
3	1	7	Chapter8 Chapter9 Chapter10	“ Seed Balls ” “ Creativity ” “ Mutual Understanding of Different Cultures ”	例示・列挙・新情報の追加についてのディスコースマーカーを学び、言い換え表現・要約・結論表現に注意して、英文を読んでいく必要がある。

科目（講座名）	英語表現Ⅱ	2単位	学校必修
教科書	MY WAY English Expression II New Edition（三省堂）	担当教諭	
副教材	UPGRADE 英文法・語法問題 UPGRADE 英文法・語法問題 完全演習 標 準編		

学習の目標

高校2年生までの英文法の基礎を学びながら大学入試に対応できる英文法力を身に付けさせる。

授業内容

講義形式、ペアワークなどの様々な活動を組み込んだ授業形式を取り入れる。また、演習問題を解答させながら、問題の解き方のコツを学べるようにする。

学習方法

付属の参考書、文法書を読んで理解させる。また、暗記だけでなく、なぜその解答になったのか、理解度を高めるように学習させる。

評価の観点

関心・意欲・態度	問題、課題などに積極的に取り組んでいるかどうか、評価する。
表現の能力	客観式問題を身につけた上で、英作文問題ができるかどうか評価する。
理解の能力	文法の知識を正しく理解できるか、説明できるかどうか評価する。
言語や文化についての知識・理解	英文法の内容に含まれている、ニュアンス、丁寧な表現などを学習しているかどうかを評価する。

評価方法

定期考査、小テスト、提出物等で評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習活動とその留意点
1	4	4	重要構文の 学習	無生物主語構文や強調表現等の様々な構文について学ぶ。 動詞の変化、英文法における動詞の活用、変化方法について学ぶ。 助動詞では、助動詞の種類を学びつつ、様々な表現方法について学習する。	入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。
		5	時制		
		4	態		
		6	助動詞		
		7			
2	9	3	不定詞	大学・短大入試の一般で問われる問題の項目であるため、基礎から学習させる内容になる。またテキスト、副教材の問題を解きながら大学入試の過去問題を解答させ、実践力を身に付けさせる。仮定法は、仮定法過去と仮定法過去完了について学習させながら、様々な仮定法の表現について学習する。	入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。 留意点としては、学習する項目が多いため、文法項目を整理させ、理解させることを重視しながら、取り組ませるようにする。
		3	動名詞		
		10	分詞		
		3	比較		
		11	関係詞		
		3	仮定法		
		12	疑問文と語順 否定・省略・強調		

3	1	<p>4 4 4 4 6</p>	<p>代名詞 主語と動詞の 一致 接続詞 前置詞</p>	<p>大学入試問題は普通の授業でなかなか、扱いにくい項目であるが、まとめとしてしっかり学習させる。</p>	<p>入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。</p>
---	---	----------------------------------	--	---	---

科目（講座名）	英語演習（英語演習 a）	2 単位	自由選択
教科書		担当教諭	
副教材	英語長文演習シリーズ SWITCH4 New Edition 2022 大学入学共通テスト英語（リーディング）対策問題集		

学習の目標

- ・ 大学入試問題の長文読解演習に取り組み、これまでの学習で培った語彙や文法の知識を活用して、論理的な思考力を習得する。
- ・ 様々なテーマの大学入試問題を通して、文化、自然科学、社会問題などについての知識と理解を深める。
- ・ 英文の要約問題によって、実践的な技能を習得させる。

授業内容

350～500 words の中堅私大レベルの長文を読解する。辞書を活用して予習することを前提とし、授業では重要語句の意味を確認し、要約や設問によって内容理解を確認する。

学習方法

- ・ 英文を読んで大意を把握してから、辞書を用いて単語・熟語等の意味を調べ、内容に関する設問に解答する。精読から速読につながるような学習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習（語句の意味調べと設問への解答）に取り組んでいる。 ・ 様々なテーマに興味を持ち、積極的に読み進める姿勢がある。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に関する日本語や英語の質問に、適切に解答できる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の内容を正確に論理的に理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけることができる。

評価方法

定期考査・予習への取り組み・授業態度・出欠席などを総合的に判断して評価する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	4	Unit 1 Unit 2	中堅私大レベルの長文読解演習 ① コーチとビジネスマネージャー ② 動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませ、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・英文の要約問題で、理解力の向上を図る。
	5	6	Unit 3 Unit 4	③ 技術革命とメディア ④ ランニングシューズ	
	6	6	Unit 5 Unit 6	⑤ 資源リサイクル ⑥ グローバル化	
	7	4	Unit 7	⑦ 大学生の外国語履修選択	
2	9	6	Unit 8 Unit 9	中堅私大レベルとハイレベルな長文読解演習 ⑧ 慈善活動 ⑨ 異文化間の結婚	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・徐々に文章の難易度を上げながら、速く正確に読む力を養い、精読から速読へと成長させる。 ・幅広い背景知識を身につけさせる。 ・英文の要約問題で、理解力の向上を図る。
	10	8	Unit 10 Unit 11	⑩ エネルギー ⑪ ある羊飼いの生き方	
	11	8	Unit 12 Unit 13	⑫ インターンシップ ⑬ 昆虫のフェロモン	
	12	6	Unit 14 Unit 15	⑭ 生物多様性 ⑮ 空間領域	
			Unit 16	⑯ 消費者の選好	
3	1	4	Unit 17 Unit 18 Unit 19 Unit 20	⑰ 愛情の必要性 ⑱ 精神と身体 ⑲ チョコレートの歴史 ⑳ 睡眠不足	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2学期に習得した技能を活用して、実践的な読解演習に取り組ませる。

科目（講座名）	英語演習（英語演習 b）	2 単位	自由選択
教科書		担当教諭	
副教材	SPRINT 4 英語総合問題集 2022 大学入学共通テスト英語（リーディング）対策問題集		

学習の目標

- ・ 比較的平易な長文教材を用いて読解演習に取り組み、これまでの学習で培った語彙や文法の知識を活用して、論理的な思考力を習得する。
- ・ 様々なテーマを扱った論理的な文章を通して、文化、自然科学、社会問題などについての知識と理解を深める。

授業内容

300～400 words の入試入門レベルの長文を読解する。辞書を活用して予習することを前提とし、授業では重要語句の意味を確認し、設問によって内容理解を確認する。また、文法事項の復習やリスニング、論理的思考のトレーニングを行う。

学習方法

- ・ 英文を読んで大意を把握してから、辞書を用いて単語・熟語等の意味を調べ、内容に関する設問に解答する。精読から速読につながるような学習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習（語句の意味調べと設問への解答）に取り組んでいる。 ・ 様々なテーマに興味を持ち、積極的に読み進める姿勢がある。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に関する英語の質問に、適切に解答できる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の内容を正確に論理的に理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけることができる。

評価方法

定期考査・予習への取り組み・授業態度・出欠席などを総合的に判断して評価する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	4	Unit 1	入門レベルの大学入試長文問題演習 1. スポーツとデータ分析 2. 新しい発明品	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませて、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・Logic Section において英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組みさせる。
			Unit 2		
	5	6	Unit 3	3. 消費社会の第4段階 4. 動物の権利	
			Unit 4		
6	6	Unit 5	5. リベラルアーツを学ぶことの大切さ 6. 個人主義の歴史		
		Unit 6			
7	4	Unit 7	7. 春の葉の出現の進捗		
2	9	6	Unit 8	入門～標準レベルの大学入試長文問題演習 8. エッセイと社会変革 9. アメリカの貧富の格差	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・徐々に文章の難易度を上げながら、速く正確に読む力を養い、精読から速読へと成長させる。 ・幅広い背景知識を習得させる。 ・Logic Section において英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組みさせる。
			Unit 9		
	10	8	Unit 10	10. インターネットの利点 11. 生活賃金	
			Unit 11		
	11	8	Unit 12	12. @（アットマーク）の誕生 13. 脳と習慣	
Unit 13					
12	6	Unit 14	14. アフリカゾウの認識力		
			Unit 15	15. 人口移動	
3	1	4	その他	過去問等を使った標準レベルの実践演習	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2学期に習得した技能を活用して、実践的な読解演習に取り組みさせる。

科目（講座名）	実用英語（実用英語）	2単位	自由選択
教科書		担当教諭	
副教材	英検総合トレーニング2級 新試験対応版 英検分野別10分ドリル2級 新試験対応版 SWの王道大学入試4技能試験対応コア表現トレーニング上級編		

学習の目標

実用英語技能検定2級合格に向けて

- 1、英文法（特に完了形、不定詞と動名詞、関係詞、比較、仮定法）を学び、読解・作文に応用できる。
- 2、語彙・表現を習得し、長文を読んで内容を正しく理解できる。
- 3、リスニング演習を繰り返し、聞く力を身につける。
- 4、2次試験対策として、スピーキング力を身につける。

授業内容

英文法の確認と演習（1）未来完了/過去完了進行形（2）関係詞（3）分詞/不定詞（4）劣勢比較/動名詞（5）仮定法
語彙・表現の習得
長文読解、リスニングの演習と解説
2次対策インタビュー練習

学習方法

例文を活用して、それぞれの文法事項についての理解を深め、問題演習に取り組む。
2級レベルの語彙・表現を覚えて、小テストを繰り返し、定着させる。
長文、リスニングの英文章を精読し、内容を正しく理解できるようになる。
2次対策として、漫画を使って状況を英語で説明し、自分自身の意見が英語で言えるようにする。

評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に問題に取り組む姿勢がある。また、英語で積極的に状況を説明し、自分自身の意見を言おうと努めている。
表現の能力	表現したい内容を英語で正しく言ったり書いたりできるようになる
理解の能力	長文の内容を読んだり、聞いたりして正確に論理的に理解することができるようになる
言語や文化についての知識・理解	文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけ、自分自身の考えを深めることができるようになる。

評価方法

単語や表現に関する小テスト ライティング課題等の提出 定期考査 インタビューテスト
--

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2 4	英文法演習 長文読解演 リスニング演 習	英文法：未来完了形/過 去完了進行形 長文読解 リスニング演習	【英文法】 ・教科書の例文を基に文法のポイントを理解し演習問題に取り組み定着を図る。 ・その際にそれぞれの類似する文法項目の違いを比較することで理解を深める。 ・また、日本語訳と英文を比較し文の構成の違いを理解させ、スムーズに英作文ができるようにさせる。 ・最終的には、トピックに合わせて文法事項を使って、英文章を書けるようになることを目標とする。 【長文読解・リスニング】 ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませて、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・コア表現トレーニングにおいて英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組ませる。
	5			英文法：関係詞 長文読解 リスニング演習	
	6			英文法：分詞/不定詞 長文読解 リスニング演習	
	7			英文法：劣勢比較/動名詞 長文読解 リスニング演習	
2	9	2 8	英文法演習 長文読解演 リスニング演 習	英文法：仮定法 長文読解 リスニング演習	【インタビュー】 ・これまでに学んだ表現を活用して目の前の状況を英語で伝えるようにする ・社会問題に目を向けて、自分自身の意見を持ち、それを英語で伝えられるようにする。
	10			実用英語技能検定 2 級 受験 2 次対策 話す力の演習	
	11			受験した 1 次試験の振り返り	
	12			2 級レベル長文読解問題演習 発表活動	

3	1	2	リスニング問題演習	大学入試共通テストのリスニング問題演習	1, 2 学期で学んだ内容を生かして、リスニングに取り組む。
---	---	---	-----------	---------------------	--------------------------------